

金沢市「夕日寺環境学習会」での小学校児童の環境教育推進活動

団体名●池田ゼミナール・野外スポーツ部／代表者名●池田幸應(人間科学部スポーツ学科教授)

はじめに

金沢市夕日寺地域は、金沢市立夕日寺小学校に加えて、本学や石川県立金沢桜丘高等学校、星稜高等学校が近隣にあり、自然に囲まれ、歴史的にも多くの遺跡等が残っている。昨年度(2019年度)で丁度1300年という節目の年に当たり、2017年6月に「夕日寺1300年協議会」が設立され、地域の歴史文化の調査・整備及び後世に引継ぐ体制づくりを行い、地域の自然環境に接し、身近な自然の大切さや豊かさを学習するとともに、地域の伝統野菜の金沢伝燈寺里芋栽培体験などを通じて地域への愛着と誇り、絆の醸成を行っている。金沢市の2017年度「協働のまちづくりチャレンジ事業」に「夕日寺1300年協議会」と「金沢星稜大学アウトドア・スポーツ・ラボ」(人間科学部スポーツ学科池田ゼミナール)とで、「地域コミュニティ協働部門」に申請・採択され、2018年度に、本学(アウトドア・スポーツ・ラボ、野外スポーツ部)が夕日寺1300年協議会の「夕日寺環境学習塾」の連携団体として採択され、2020年度においてもその活動が継続されている。

活動内容

これまで、池田ゼミナール及び野外スポーツ部は継続的に夕日寺地域での連携活動を推進しているが、本年度は、新型コロナウイルス感染(COVID-19)により、当該活動での活動が中止、延期される中で「金澤伝燈寺里芋収穫活動」や「金腐川の水生生物観察会」等を地元の子どもたちと共に実施しており、本稿では、その中の「金腐川の水生生物観察会」を中心に記述する。

●「金腐川の水生生物観察会」〔2020年8月1日(土)、金沢市夕日寺地区牧大橋付近金腐川流域〕

夕日寺校下の小学生児童、幼児とその保護者を中心に本学の池田ゼミナール、野外スポーツ部学生が活動サポートとして参画した。学生たちもスタッフとして会場準備を行い、小学生と保護者の方々が集合後、まず、活動説明がなされ、水生生物の捕獲、観察及び学習(米田 豊 氏の指導による水中生物ミニ講義)、金沢

市環境担当課職員による水質調査等が行われた。



子どもたちの活動をサポートする学生たち



小学生の気持ちに戻って活動する学生たち

成果、結果の考察

夕日寺地域では、池田ゼミナール、野外スポーツ部の自然体験活動や小学生児童への体験活動サポートを含め、夕日寺地域の1300年の節目等によって、連携組織が拡大・発展し、「1300年」のスローガンによる地域住民の意識共有により、地域コミュニティづくりが推進され始めている。参画した学生たちにとっても、地域の子どもたちや高齢者、そして行政担当者等の様々な方々との協働を通して地域の魅力や課題にも気付くことができる。特に学生たちにとっては、自然体験活動によって地域づくりが推進されて行く様子を実感できるものと考えられる。

今後の課題、展望

子どもたちへのふるさと教育の推進やSDGsの視点からも、地域の遺跡保全や金澤伝燈寺里芋のブランディング等も含め、地域主体の更なる継続発展活動が期待される。